



資料2

食安基発1101第1号  
平成22年11月 1日

内閣府食品安全委員会事務局評価課長 殿

厚生労働省医薬食品局  
食品安全部基準審査課長



食品健康影響評価に係る補足資料の提出依頼について（報告）

高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に係る標記については、平成21年8月25日付け府食第812号及び平成21年9月4日付け府食第858号にて依頼され、平成21年9月17日付け食安基発0917第1号、平成21年12月1日付け食安基発1201第1号、平成22年6月1日付け食安基発0601第1号及び平成22年8月24日付け食安基発0824第2号にて、高濃度にジアシルグリセロールを含有する油の製造に責任を有している企業からの報告について報告したところです。

今般、平成21年8月25日付け府食第812号及び平成21年9月4日付け府食第858号において依頼されたグリシドール脂肪酸エステル及びグリシドールの毒性に関する情報について、当該企業から別添のとおり報告がありましたので、報告いたします。



( 別 添 )

平成 22 年 11 月 1 日

厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課長 殿

花王株式会社  
代表取締役 社長執行役員  
尾崎 元規

グリシドール脂肪酸エステル及びグリシドールに関する補足資料の提出について

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

標記の件につきましては、平成 21 年 11 月 30 日付けで文献検索により得られましたグリシドール脂肪酸エステル関連の情報 9 件、グリシドール関連の情報 11 件を報告いたしましたが、その後、新たに 6 件の情報を収集いたしましたので報告いたします。

以上

新たに入手した文献等リスト

文献番号	著者名	標題	文献名 年:巻(号):頁	概要
1	Landin HH, Grummt T, Laurent C and Tates A	Monitoring of occupational exposure to epichlorohydrin by genetic effects and hemoglobin adducts.	Mutat Res 1997; 381: 217-26	エピクロロヒドリンの職業暴露のないヒト(非喫煙者)6例から平常時に血液を採り、その中のヘモグロビンのN-末端パリンを脱離すると、その一部(ヘモグロビン1gあたり1~2 pmol)がN-(2,3-ジヒドロキシプロピル)パリンであった。
2	Tennant RW, Stasiewicz S, Mennear J, French JE and Spalding JW	Genetically altered mouse models for identifying carcinogens.	IARC Sci Publ 1999; 146: 123-50	グリンドールについてのp53+/-ヘテロ接合型)マウスを用いた発がん性試験(未公表)において陰性の結果であったとされている。
3	Generoso WM, Rutledge JC, Cain KT, Hughes LA and Braden PW	Exposure of female mice to ethylene oxide within hours after mating leads to fetal malformation and death.	Mutat Res 1987; 176: 269-74	雄と30分間交配させた雌マウス(妊娠したものは各群23~31匹)について、交配の1, 6, 9又は25時間後にグリンドール(純度不詳)(0, 250 mg/kg 体重)を単回吸入投与し、妊娠17日に屠殺する試験が行われている。その結果、着床数に対する胎児生存率については、対照群(96.9%)に対し、交配1時間後投与群(77.4%)及び交配6時間後投与群(80.6%)で有意な減少が認められたとされている。この胎児生存率の低下については、胚吸収率及び妊娠後期胎児死亡率の増加と関連していたとされている。生存胎児での異常(奇形及び変異)の発生率については、対照群(1.2%)に対し、交配1時間後投与群(12.1%)及び交配6時間後投与群(6.1%)で有意な増加が認められたとされている。
4	de Flora S	Metabolic activation and deactivation of mutagens and carcinogens.	Ital J Biochem 1979; 28: 81-103	グリンドールについての細菌を用いた復帰突然変異試験の結果が報告されている。
5	JETOC((社)日本化学物質安全・情報センター)編(厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課監修)	労働安全衛生法有害性調査制度に基づく既存化学物質変異原性データ集補遺3版	JETOC, 東京, 2005; pp.21-6, 51, 80, 117-8 and 179-80	グリンドールについての細菌を用いた復帰突然変異試験の結果が報告されている。
6	JETOC((社)日本化学物質安全・情報センター)編(労働省労働基準局安全衛生部化学物質調査課監修)	労働安全衛生法有害性調査制度に基づく既存化学物質変異原性試験データ集	JETOC, 東京, 1996, 1998(正誤表に基づくリプリント); pp35-40, 49, 65, 74, 409and 422-3	グリンドールについての、ほ乳類培養細胞を用いた染色体異常試験の結果が報告されている。